

ISO/TC 68 活動報告書 (2022 年度)

1. ISO/TC 68 の組織・概要
 2. ISO/TC 68 の審議体制と国内リエゾン関係、
ISO 20022 RMG
 3. ISO/TC 68 の標準一覧
 4. 投票案件回答状況
 5. ISO/TC 68 関連国際会議、国内委員会の開催状況
- 参考. ISO/TC 68 国内委員会 会員一覧

ISO/TC 68 国内委員会事務局

連絡先：日本銀行決済機構局決済システム課
情報技術標準化グループ

〒103-8660 中央区日本橋本石町 2-1-1

Tel: 03-3277-2150

Tel: 03-3277-1483

Fax: 03-3548-2317

E-mail: iso-tc68@boj.or.jp

ISO/TC 68国内委員会について

[ISO/TC 68の組織・概要](#)

[ISO \(International Organization for Standardization\)](#)

[TC 68 \(Technical Committee Financial services\)](#)

[リエゾン体制](#)

[ISO/TC 68国内委員会の組織・運営体制](#)

[規約](#)

[会員一覧](#)

[沿革](#)

ISO/TC 68の組織・概要

ISO (International Organization for Standardization)

国際標準化機構（International Organization for Standardization：ISO）は、国際標準化活動を行うために1947年に設立された非政府組織（本部：スイス・ジュネーブ）です。ISOの会員団体（Member Body：MB）として、各国1機関の国内で最も代表的な標準化機関が参加しており、現在は167カ国が加盟しています（2021年12月末時点）。日本は経済産業省（産業技術環境局基準認証ユニット）に設置されている審議会である日本産業標準調査会（Japanese Industrial Standards Committee：JISC）が1952年に加盟しています。総会（General Assembly：GA）は年1回開催されており、ISO運営上の戦略的目標を決定しています。また、理事会（Council）は年3回開催されており、ISOの統括組織として活動しています。中央事務局（Central Secretariat：CS）は、事務局長（Secretary-General）の指揮のもとで様々な業務を行っています。

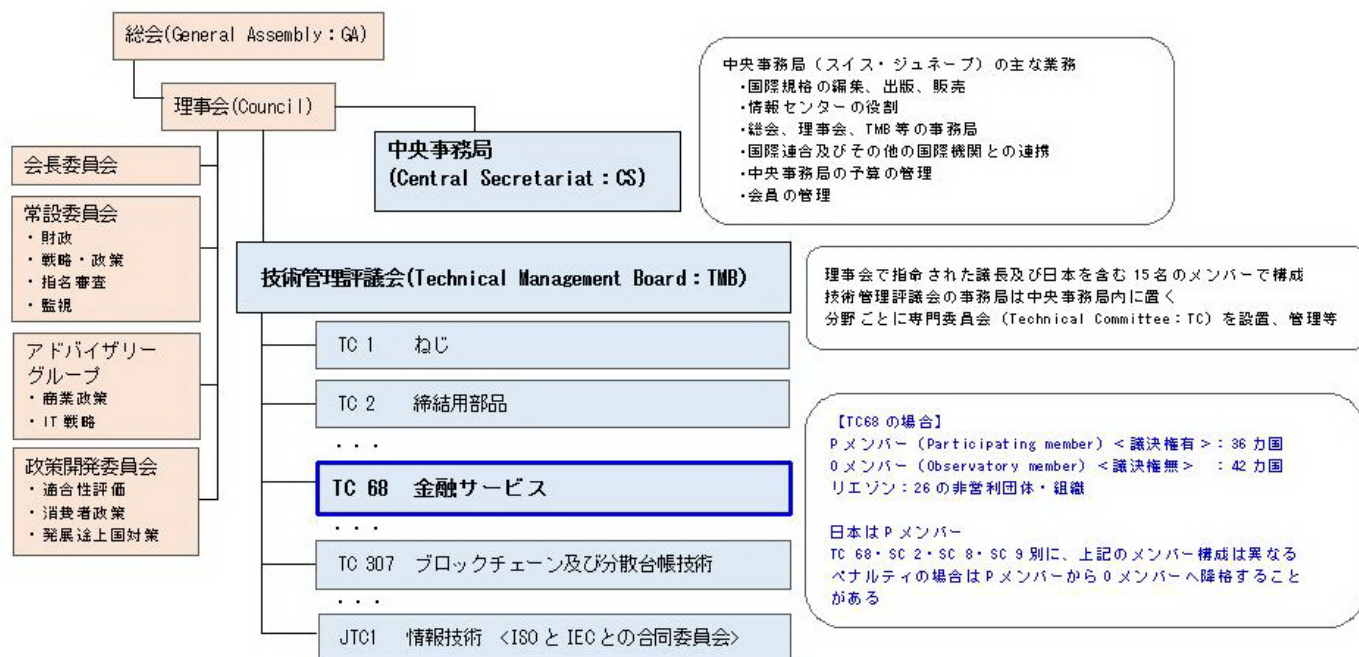
ISOの標準化分野は多岐にわたっており、往年は「ねじ」（TC 1）や「締結用部品」（TC 2）といったモノに関する規格開発が中心でしたが、近年では「情報セキュリティマネジメントシステム（ISO/IEC 27000s）」といったモノ以外に拡大しています。これにより規格開発を行うことを目的として設置される専門委員会（Technical Committee：TC）は増加傾向にあり、「アセットマネジメント」（TC 251）や「労働安全衛生マネジメント」（TC 283）といったマネジメント関連、および「サービスエクセレンス」（TC 312）や「電子商取引におけるトランザクション保証」（TC 321）といったサービス関連の委員会等が設置されています。そして、「金融サービス専門委員会」（TC 68）は68番目に設置されて金融情報技術の国際標準化を担当しています。

ISOの組織体制

1. ISO/TC 68の組織・概要

—— 下図の情報は2023年3月時点。

詳細は  [ISO組織図](#) (外部サイトへのリンク) をご参照ください。



TC 68 (Technical Committee Financial services)

TC 68は、議長 (Chairperson)、各国審議団体 (National Standards Body: NSB) から選任された代表者、リエゾンでメンバー構成されており、事務局 (Committee Manager) が設置されています。

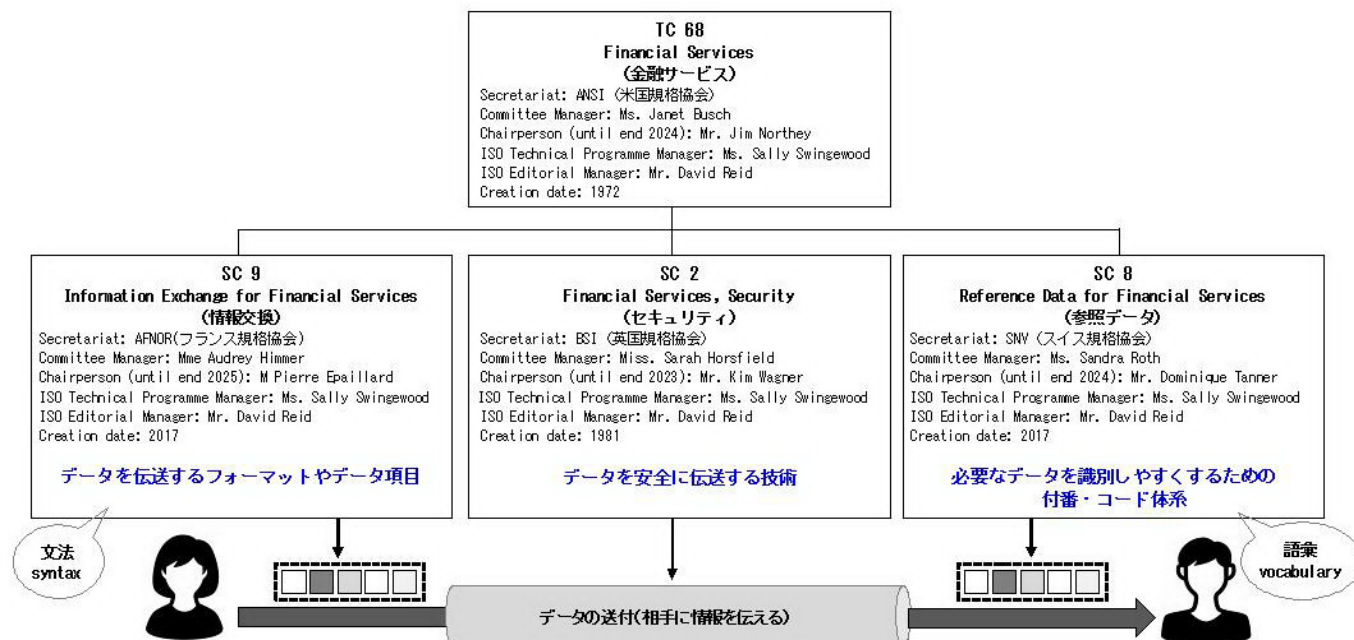
TC 68の下部組織には、TC 68議長 (Chairperson) をサポートするCAG (Strategic Leadership Group) 等のほか、3つの分科委員会 (Sub-Committee: SC) が設置されています (SC 2: セキュリティ、SC 8: 参照データ、SC 9: 情報交換)。

TC 68では、上層委員会である技術管理評議会 (TMB) および他TCとの調整事項、下部組織間における調整事項、TC 68の活動領域 (Scope) に関する審議・決議 (国際投票やPlenary会合席上で実施)、規格の活用促進のための情報発信、将来のISO規格作成に向けた調査・研究等に取り組んでいます。また、各SCの議長 (Chairperson) を国際投票により選任します。

ISO/TC 68と3つの分科委員会 (Sub-Committee: SC)

—— 下図の情報は2023年3月時点。

1. ISO/TC 68の組織・概要



各SCの担当分野は、金融サービスに関するデータ交換を安全・確実に行うための基本要素別に分かれています。SC 2 (セキュリティ) は暗証番号の管理、生体認証、暗号化方式等のデータを安全に伝送する技術を、SC 8 (参照データ) は必要なデータを識別しやすくするための付番・コード体系を、そしてSC 9 (情報交換) はデータを伝送するフォーマットやデータ項目を、それぞれ担当しています。

各SCは、議長 (Chairperson)、各国審議団体 (National Standards Body : NSB) から選任された代表者、リエゾンでメンバー構成されており、事務局 (Committee Manager) が設置されています。この各SCレベルでISO規格の立案・審議・決議 (国際投票やPlenary会合席上で実施) ・発行・改訂・廃止等に取り組んでいます。国際投票はPメンバー (Participating member) による決議となり、1国1票となります。このため、各国審議団体 (National Standards Body : NSB) において審議・決議により見解を1つに纏めておく必要があります。


各SCの下部組織には、実際にISO規格開発を担当している作業グループ (Working Group : WG) や、ISO規格開発に向けた研究グループ (Study Group : SG)、アドバイザリーグループ (Advisory Group : AG) 等が設置されています。これらのグループは、国際投票で選任された主査 (Convenor) をはじめ、Convenor/Secretary Support Team、各国審議団体 (National Standards Body : NSB) から選任された専門家 (Expert)、リエゾン、Document monitor、Technical programme managerで構成されています。主査 (Convenor) は、作業計画を策定した上で会議 (リモート/対面) やメール等で、メンバーと議論しコンセンサスを得ながらドキュメントの作成に取り組み、作業達成を目指します。専門家 (Expert) は、各国審議団体 (National Standards Body : NSB) の見解を認識していることが望ましいとされていますが、各人の立場で行動することが求められています。

1. ISO/TC 68の組織・概要

このほか、公開済みのISO規格のうち登録・維持管理作業が必要なものは、維持機関（Maintenance Agency : MA）、登録機関（Registration Authority : RA）等が設置されています。また、ISO/TC 68/SC 9所管のISO規格「ISO 20022」（金融通信メッセージの国際規格）では、各評価グループ等を取りまとめ、登録手続き全般を審査・管理する組織として登録管理グループ（Registration Management Group : RMG）が設置されています。


ISO/TC 68（金融サービス）の審議体制、ISO規格「ISO 20022」（ISO/TC 68/SC 9所管）の登録管理グループ

——— 日本は経済産業省の審議会「日本産業標準調査会（JISC）」が加盟。TC 68の国内審議団体（事務局）はJISCから委任を受けた日本銀行決済機構局が担当。下図の情報は2023年3月時点。

詳細は最新版の  [ISO/TC 68（金融サービス）の審議体制と国内リエゾン関係、ISO 20022 RMG \[PDF 315KB\]](#) をご参照ください。





 [ISO TC 68 Financial services](#) (外部サイトへのリンク)

 [ISO TC 68 Financial services 「Registration Authorities vs. Maintenance Agencies \(維持機関<Maintenance Agency : MA>と登録機関<Registration Authority : RA>の違い\)」](#) (外部サイトへのリンク)

 [ISO 20022](#) (外部サイトへのリンク)

 [日本産業標準調査会 \(JISC\)](#) (外部サイトへのリンク)

 [日本規格協会 \(JSA\) ISO/IEC TC一覧及び国内審議団体連絡先情報](#) (外部サイトへのリンク)

 [日本規格協会「さあ始めよう ツールキット — ISO委員会マネージャー向け \[2020年版\] \(英和対訳\)」 \[PDF\]](#) (外部サイトへのリンク)

リエゾン体制

ISO/TC 68およびSC 2・SC 8・SC 9の各レベルで、関連性の高いTC等との作業の重複を排除しつつ国際標準の整備を統合的かつ円滑に進めるために、リエゾン・オフィサー（Liaison Officer）を相互に派遣し、連携を図っています。

現在、ISO/TC 68国内委員会では、ISO/TC 307（Blockchain and Distributed Ledger Technologies）やISO/IEC JTC 1傘下の以下のSCとリエゾン関係にあります。

(1) TC 307 (Blockchain and Distributed Ledger Technologies)

ブロックチェーンや電子分散台帳技術の標準化を所掌。

国内審議団体の事務局は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）。

(2) JTC 1/SC 17 (Cards and Security Devices for Personal Identification)

カード及び個人識別を対象とし、各種カード及び個人識別用セキュリティデバイスの要素技術から利用システム（クレジットカード・IC旅券・運転免許証等）までを含む国際互換性に関する標準化と登録管理を所掌。

国内審議団体の事務局は、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）。

(3) JTC 1/SC 27 (Information security, cybersecurity and privacy protection)

他の複数のTCやSCにおいて共通的に利用可能な情報セキュリティの要素、管理システム、およびサービス技術の標準化を所掌。

国内審議団体の事務局は、一般社団法人情報処理学会（IPSJ）。

(4) JTC 1/SC 37 (Biometrics)

汎用的な生体認証技術に関する標準化を所掌。

国内審議団体の事務局は、一般社団法人情報処理学会（IPSJ）。

ISO/TC 68国内委員会の組織・運営体制

各TCの国内審議体制

1. ISO/TC 68の組織・概要

日本では経済産業省（産業技術環境局基準認証ユニット）に設置されている審議会である日本産業標準調査会（Japanese Industrial Standards Committee：JISC）がISOの会員団体（Member Body：MB）となっており、各TCの国内審議団体（National Standards Body：NSB）は、日本産業標準調査会（JISC）から委任を受けた団体・組織がそれぞれ担当しています。ISO/TC 68国内審議団体（会議体名称を「ISO/TC 68国内委員会」という）は、日本銀行決済機構局が事務局を担当しています（決済システム課情報技術標準化グループ）。

各TCの国内審議体制

—— 下図の情報は2023年3月時点。



詳細は最新版の [日本規格協会 \(JSA\) ISO/IEC TC一覧及び国内審議団体連絡先情報](#)（外部サイトへのリンク）をご覧ください。

ISO/TC 68国内委員会の組織・運営体制

ISO/TC 68国内委員会は、ISO/TC 68所管の金融サービス分野における国際標準化について国内での審議および情報共有等を行うことを目的としています（運営規約第2条）。本委員会の構成は、金融業界、金融関連の産業界、中央省庁、および学識経験者からの適切な人材若干名による委員のほか、リエゾン、オブザーバーをもって構成し、委員長1名、事務局長1名をおいています（同第3条）。

委員は本委員会の審議に参加し議決権を有します（同第4条）。本委員会の総会は、議長を

1. ISO/TC 68の組織・概要

務める委員長が招集して年2回程度開催すること、本委員会の審議はこの総会において行うことを原則としており、議事については議事録を作成します（同第5条）。

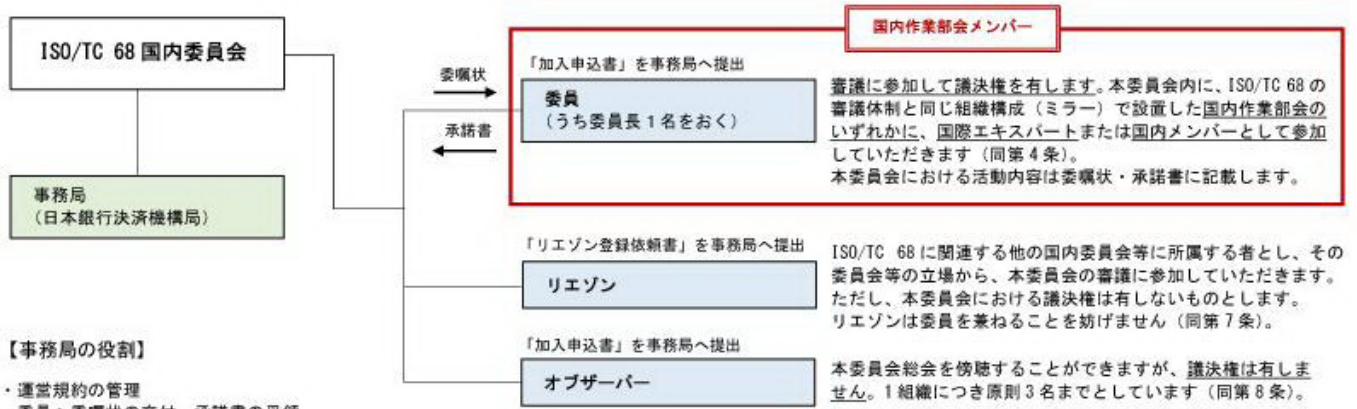
本委員会の運営面では、ISO/TC 68の審議体制と同じ組織構成（ミラー）で「国内作業部会」を設置し（同第6条1）、その対象となるWG等に関する事項（国際投票の投票案を含む）について審議を行うこととしています（同第6条2）。委員は国内作業部会のいずれかに参加いただきます（同第4条2）。また、国内作業部会にはその対象となるWG等に本委員会から選任された専門家（Expert：当委員会では国内メンバーとの対比で「国際エキスパート」という）を所属させることとしています（同第6条3）。国内作業部会は、その対象となるWG等が解散した場合または所属する国際エキスパートが不在となった場合には解散することとしています（同第6条5）。なお、国内作業部会が未設置のWG等については、事務局がその対象となるWG等に関する事項（国際投票の投票案を含む）の審議を担当します（同第9条3）。

国内作業部会の運営では、エキスパートの中から取り纏め役1名をおいています。各国内作業部会の取り纏め役は、その対象となるWG等に関する事項（国際投票の投票案を含む）について、国内作業部会メンバー（国際エキスパート+国内メンバーで構成：委員に該当）の意見調整や事務局との連絡役を担当します。また、本委員会総会においては総会資料のアップデート作業に取り組み、総会席上での報告を担当します。国際エキスパートには、対象となるWG等の文書や会合予定等へのアクセス権を有するISO Portalおよび日本産業調査会（JISC）が提供するISO/TC 68ミラーサイト（ISOlutions）へのアクセス権限を付与します。国内メンバーにはISO/TC 68ミラーサイト（ISOlutions）へのアクセス権を付与しません。これらのID登録／抹消手続きは、事務局が担当します（同第9条3）。

ISO/TC 68国内委員会の組織構成と各役割

——— 下図の情報は2023年3月時点。

1. ISO/TC 68の組織・概要



【事務局の役割】

- ・ 運営規約の管理
 - ・ 委員へ委任状の交付、承諾書の受領
 - ・ 会員の管理（名簿、メーリングリスト、ISO システム ID 登録/抹消手続き等）
 - ・ ホームページの管理
 - ・ 委員会内への情報共有
 - ・ 審議事項の取り纏め、審議の実施
 - ・ 国際投票案件の管理および投票処理（国内作業部会が不明確な場合における国際投票の投票案の検討・作成を含む）
 - ・ 国内作業部会との連携（作業依頼等を含む）
 - ・ 本委員会総会の開催運営（日程調整・開催案内、資料作成および取り纏め、議事録作成・公表等）
 - ・ 活動報告書の作成・公表
 - ・ リエゾンおよびオブザーバー委員会等との連携・会議参加
 - ・ ISO/TC 68 Plenary 会合へ出席※（委員の登録手続き、資料作成および提出を含む）
- ※ JISC 代表者（Head of delegation: HoD）として事務局長が出席。ただし、やむを得ない場合には、事務局長は事務局員に HoD 権限を一時的に付与した上で出席させることができる。委員が傍聴を希望する場合は登録手続きにより参加可能。

ISO/TC 68国内委員会における各国内作業部会

——— 下図の情報は2023年3月時点。



[日本規格協会（JSA）ISO/IECの規定・政策等 ISO編【1】国際標準化活動参加のための手引き及びQ&A](#)（外部サイトへのリンク）

[日本規格協会（JSA）ISolutions利用登録](#)（外部サイトへのリンク）

規約

[PDF ISO/TC 68国内委員会運営規約 \[PDF 97KB\]](#)

会員一覧（所属先の組織名称のみ掲載）

 [ISO/TC 68国内委員会（2023年3月現在） \[PDF 82KB\]](#)

随時メンバーを募集中です。ISO/TC 68国内委員会運営規約第3条に該当し国際標準化活動への参画を希望される方は[事務局](#)までご照会ください。

沿革

 [ISO/TC 68および下部組織の各SCの変遷図 \[PDF 207KB\]](#)

1983年 9月	日本工業標準調査会（JISC、現在は日本産業標準調査会に名称変更）がISO/TC 68に対して、議決権のないO（Observer）メンバーとしての会員資格を取得
12月	JISCがISO/TC 68および下部組織のSC 1・SC 2・SC 5に対して、議決権のあるP（Participating）メンバーとしての会員資格を取得（SC 1：Bank documents and access devices、SC 2：Operation and procedures、SC 5：Information Interchange）
1984年 5月	ISO/TC 68の下部組織のSC 2およびSC 5のWGレベルの国際会合にPメンバーとして初参加
1985年 1月	第1回ICカード懇談会（ISO/TC 68/SC 2-7国内検討委員会のSC 7に相当）を開催
8月	第1回MAC（Message Authentication Code）懇談会（ISO/TC 68/SC 2-7国内検討委員会のSC 2に相当）を開催
1986年 6月	JISCがISO/TC 68/SC 6のPメンバーとしての会員資格を取得（SC 6：Financial Transaction Cards, Related Media and Operations）
12月	第1回ICカード関連連絡調整委員会（現在のISO/TC 68 国内委員会に相当）を開催
1991年 4月	ISO/TC 68/SC 2年次総会 東京会合開催（ホスト：日本銀行）

1. ISO/TC 68の組織・概要

1999年10月	ISO/TC 68/SC 4年次総会 東京会合開催（ホスト：日本証券業協会）
2000年 6月	ISO/TC 68国内委員会ホームページ開設
2004年 6月	ISO/TC 68/SC 7が新設（SC 7：Core Banking、銀行業務のメッセージコードを所掌）
	ISO 20022 RMG（Registration Management Group）をISO/TC 68/SC 4からTC 68へ移管
9月	ISO/TC 68/SC 2およびSC 6年次総会 東京会合開催（ホスト：日本銀行）
2005年 6月	ISO/TC 68国内委員会運営規約およびISO/TC 68/SC 2・SC 6・SC 7国内検討委員会規則を制定
2006年 5月	ISO/TC 68国内委員長の交代（学習院大学 南部教授から横浜国立大学 松本教授に交代）
2007年 6月	ISO/TC 68/SC 6廃止に伴い、国内検討委員会規則を改正
2010年 5月	ISO/TC 68年次総会、TC 68/SC 4およびSC 7年次総会、ISO 20022 RMG定例会合の東京会合開催（ホスト：日本銀行、日本証券業協会）
12月	ISO/TC 68国内委員会ホームページ更改
2015年 9月	ISO/TC 68/SC 2・SC 4・SC 7国内検討委員会廃止に伴い、ISO/TC 68/SC 2・SC 4・SC 7国内検討委員会規則を廃止およびISO/TC 68国内委員会運営規約を改正
12月	ISO 20022 RMG定例会合 東京会合開催（ホスト：日本銀行）
2017年 4月	ISO/TC 68/SC 8（金融サービスにおける参照データ）およびSC 9（金融サービスにおける情報交換）が新設
11月	ISO/TC 68/SC 4およびSC 7が廃止

1. ISO/TC 68の組織・概要

2019年 7月	ISO/TC 68国内委員会運営規約を全面改正
2020年 7月	ISO/TC 68国内委員会運営規約を一部改正し、ISO/TC 68国内委員会事務局を「金融研究所」から「決済機構局」へ移管
10月	ISO/TC 68国内委員会ホームページを「日本銀行金融研究所ホームページ」から「日本銀行ホームページ」へ移設
2021年 6月	ISO/TC 68国内委員会運営規約を一部改正し、ISO 20022 RMG傘下のグループに対応する国内作業部会を廃止
2022年10月	ISO/TC 68国内委員会ホームページのコンテンツを刷新
2022年12月	ISO/TC 68国内委員会運営規約を一部改正（第9条4）

2. ISO/TC 68の審議体制と国内リエゾン関係、ISO 20022 RMG

1. ISO/TC 68(金融サービス)の国際審議体制と国内審議体制

March 2023

ISO(International Organization for Standardization: 国際標準化機構)

- 国際的な標準化活動を行う非政府組織であり、本部はジュネーブ。「ISO Directives」に基づき標準化活動を行っている。
 - MB(Member Body<会員団体>)として、各国1機関が会員資格を認められており、日本からはJISC(日本産業標準調査会)が加入している。
 - ISOには産業分野別に現在300程度の専門委員会(Technical Committee: TC)等があり、68番目のTC68が金融サービスの標準化を担当する専門委員会である。
- TC68の下には、分科委員会(Sub-Committee: SC)、またその下に作業グループ(Working Group: WG)、研究グループ(Study Group: SG)等が設置されており、各担当分野において国際規格立案の審議が行われている。

国内審議体制

ISO/TC 68国内委員会

委員長: 横浜国立大学・松本勉先生
事務局: 日本銀行決済機構局
(日本からの代表者: 橋本
ISO/TC 68投票者: 橋本、清水)

委員

いずれかの国内作業部会(国際審議体制下に設置されている作業グループやアドホックグループ等に対応した国内組織)に参加
ISO/TC 68国際投票に関する審議を行う

Expert

委員活動に加えて、国際審議体制下に設置されている作業グループやアドホックグループ等に日本の代表として参加

国際審議体制

幹事国(Secretariat)等

TC 68

Financial Services
金融サービス

「金融サービス」を対象とする専門委員会であり、金融業務に利用される情報通信技術、情報セキュリティ技術等に関する国際標準化を担当。

Secretariat: ANSI(米国規格協会)
Chairperson (until end 2024): Mr. Jim Northey(米国)

SC 2

Financial Services, Security
金融サービス向けセキュリティ

Secretariat: BSI(英国規格協会)
Chairperson (until end 2023): Mr. Kim Wagner(米国)

CAG	Chair's Advisory Group	Convenor:
WG 8	Public Key Infrastructure Management for Financial Services 公開鍵基盤(PKI)	Convenor: Mr. Tony Seymour
WG11	Encryption Algorithms Used in Banking Applications 金融サービスで用いる暗号アルゴリズム	Convenor: Mr. Richard Kiskey
WG13	Security in Retail Banking 金融リテール取引におけるセキュリティ(暗証番号・生体認証など)	Convenor: Mr. Kim Wagner
WG16	Security Aspects Related to Third Party Payment Service Providers (TPP's) FinTech業者のセキュリティ要件	Convenor: Mr. Lorenzo Gaston Guirao
WG17	Security Aspects of Digital Currencies デジタル通貨のセキュリティ要件	Convenor: Mr. Edward Scheidt
WG18	Customer Identification and Authentication Technologies オンラインでの顧客の本人確認方法の標準化(e-KYC)	Convenor: Ms. Min ZUO
WG19	Security Aspects of Code-scanning Payment バーコード決済(QRコード等を含む)のセキュリティ要件	Convenor: Ms. Min ZUO

SC 8

Reference Data for Financial Services
金融サービスにおける参照データ

Secretariat: SNV(スイス規格協会)
Chairperson (until end 2024): Mr. Dominique Tanner(スイス)

CAG	Chair's Advisory Group	Convenor:
MA	ISO 20275 Maintenance Agency (Voting Members)	Convenor: Mr. Ricco Dun
MA 1	ISO 4217 Maintenance Agency (Voting Members)	Convenor: Mr. Michel Brügger
MA 2	ISO 4217 Maintenance Agency (Discussions)	Convenor: Mr. Michel Brügger
MA 3	ISO 20275 Maintenance Agency (Discussions)	Convenor: Mr. Ricco Dun
MA 4	ISO 10962 Maintenance Agency (Voting members)	Convenor: Mr. Michel Brügger
MA 5	ISO 10962 Maintenance Agency (Discussions)	Convenor: Mr. Michel Brügger
MA 6	ISO 5009 Maintenance Agency (Voting members)	Convenor: Mr. Ricco Dun
MA 7	ISO 5009 Maintenance Agency (Discussions)	Convenor: Mr. Ricco Dun
SG 5	Digital Wallet Identification DWI(デジタルウォレット識別子)	Convenor: Mr. Alexandre Kech
WG 3	Digital Token Identifier - DTI (デジタルトークン識別子)	Convenor: Mr. Ryan Pierce
WG 7	Natural Persons Identifier NPI(自然人ID)	Convenor: Mr. Patrick Curry
WG 10	Revision of the FISN (証券金融商品の短縮名称・略称コードの改正)	Convenor: Mr. Uwe Meyer
WG 11	Verifiable LEIs (vLEIs) (検証可能な取引主体識別子)	Convenor: Ms. Karla McKenna

SC 9 Information Exchange for Financial Services 金融サービスにおける情報交換	AG 1 ISO 20022 RA Oversight Group (ISO 20022 RAを監督するグループ)	Convenor: 未定	
	TG 1 Cards Standards ATICA (カード決済のISO 20022形式)	Convenor: Mr. Douglas Frantz	
	WG 1 ISO 20022 Semantic Models ISO 20022におけるセマンティック・ウェブの活用	Convenor: Ms. Lisa Taikitsadaporn	
	WG 3 Revision of ISO 8583 and ISO 18245 ISO 8583 (カード取引メッセージ)およびISO 18245 (クレジットカードの加盟店業種コード)の規格改正	Convenor: Mr. Douglas Frantz	
	WG 4 ISO 20022 Revision ISO 20022 (金融サービスの通信メッセージ)の規格改正	Convenor: Ms. Weimei Shen	
	AG 2 Standards Advisory Group	TC68関連の国際規格全般について、実務的な課題を検討するうえでの金融当局・中央銀行とのコンタクト・ポイントとして機能するグループ	Convenor: Ms. Karla McKenna
	AG 3 Best Practices	TC68に存在する複数の類似している標準を、より効果的に活用できるよう統合などの改善を検討するグループ	Convenor: Mr. Jason Polis
	AG 4 Sustainable Finance Advisory Group	サステイナブルファイナンスを検討するグループ	Convenor: Ms. Rebecca Healey
	AG 5 Digital Currencies	デジタル通貨を検討するグループ	Convenor: Mr. Gerard Hartsink
	CAG Strategic Leadership Group	TC68議長を補佐する目的で作成されたグループ (TC68、SC2、SC8、SC9の各議長と事務局およびISO 20022 RMG ConvenorとVice Convenorが参加している)	Convenor: Mr. Jim Northey
SG 4 Communications	TC68関連のニュースレターの作成等、TC68が所管する国際規格の開発・利用に関する情宣活動を担うグループ	Convenor: Mr. Paul D'Amico	
TAG 1 Fintech Technical Advisory Group	FinTech関連主体との連携を通じて、国際標準の活用や新たな標準化ニーズについて検討を行うことを目的とするグループ	Convenor: Mr. Bill Nichols	

Secretariat: AFNOR (フランス規格協会)
 Chairperson (until end 2025): M Pierre Epailard (フランス)

2. ISO/TC 68(金融サービス)の国内リエゾン関係

ISO/TC68の国際標準化領域は、他の標準化機関の領域とオーバーラップしている部分があるため、国際規格を整合的に、かつ重複を避けて円滑に進めるには、他の標準化機関との連携が重要となる。ISO等の国際標準化機関では、「リエゾン(liaison、連携役)」と呼ばれる委員を相互の委員会に派遣し、連携を図っている。このリエゾン関係は国際レベルでも国内レベルでも実施されている。

TC307 Blockchain and Distributed Ledger Technologies	ブロックチェーンと電子分散台帳技術に係る専門委員会 【国内リエゾン】 TC68→TC307: TC68国内委員会事務局 橋本、清水 TC307→TC68: TC307国内審議委員長 楠氏、同委員 鈴木氏	ISO/TC307国内審議委員会 事務局: (一財)日本情報経済社会推進協会 委員長: デジタル庁 楠氏
ISO/IEC JTC1*		国内審議体制
SC17 Cards and Security Devices for Personal Identification	カード及び個人識別を対象とし、各種カード及び個人識別用セキュリティデバイスの要素技術から利用システム(クレジットカード・IC旅券・運転免許証等)までを含む国際互換性に関する標準化と登録管理を担当。 【国内リエゾン】 TC68→SC17: TC68国内委員会事務局 橋本 SC17→TC68: SC17国内委員長 廣川氏	SC17国内委員会 事務局: (一社)ビジネス機械・情報システム産業協会 委員長: 廣川氏
SC27 IT Security Techniques	他の複数のTCやSCにおいて共通的に利用可能な情報セキュリティの要素、管理システム、およびサービス技術の標準化を担当。 【国内リエゾン】 TC68→SC27: TC68国内委員会事務局 橋本 SC27→TC68: SC27専門委員長 近澤氏	SC27専門委員会 事務局: (一社)情報処理学会 委員長: 三菱電機(株) 近澤氏
SC37 Biometrics	汎用的なバイオメトリック技術に関する標準化を担当。 【国内リエゾン】 TC68→SC37: TC68国内委員会事務局 橋本 SC37→TC68: SC37専門委員長 坂本氏	SC37専門委員会 事務局: (一社)情報処理学会 委員長: 日本電気(株) 坂本氏

*JTC1: Joint Technical Committee 1(合同専門委員会)。情報技術革新の進展に伴い、コンピュータ技術やネットワーク技術の双方に跨る「情報技術分野」の標準化推進ニーズが増大したためISOとIEC(International Electrotechnical Commission、国際電気標準会議)は1987年にJTC1を設立し、この分野の国際標準化を担当させている。

3. ISO規格「ISO 20022」(ISO/TC 68/SC 9所管)の登録管理グループ

ISO 20022 RMG (Registration Management Group) ISO 20022 RMGは、「ISO 20022 Registration Bodies Governance」に基づいてISO/TC 68/SC 9所管のISO規格「ISO 20022」に準拠したビジネスモデルの登録および維持管理の促進等の役割を持った非法人格の登録管理グループ。具体的には、SEGsがSC 9傘下のISO 20022登録機関(RA: Registration Authority< SWIFT>)に対してメッセージフォームの登録依頼を行い、RAを支援する上で技術的な問題点やビジネス上の課題に取り組んでいる。		Secretariat: savemeri(日本) Convenor: 田貝 征之氏(日本) Vice convenor: Mr. Martin Walder(スイス) Second Vice-Convenor: Mr. Richard Robinson(米国)
SEGs (Standards Evaluation Groups)	Payments	Convenor: Mr. Peter Hoogervorst
	Securities	Convenor: Mrs. Christine Strandberg
		Derivatives
	FX (Foreign Exchange)	Convenor: Mr. Zaiyue Xu
	Trade Services	Convenor: 未定
	Cards and Related Retail Financial Services	Convenor: Mr. William Vanobberghen
TSG (The Technical Support Group)		Convenor: 'Mr. Martin Walder
RTPG Real-Time Payments Group		---
CSH (Cross SEG Harmonisation Group)		---



Menu

← TC

Standards by ISO/TC 68

Financial services

Subcommittee	ISO/TC 68/SC 2
Subcommittee Title	Financial Services, security
Published standards	16
Standards under development	10

Subcommittee	ISO/TC 68/SC 8
Subcommittee Title	Reference data for financial services
Published standards	21
Standards under development	5

Subcommittee	ISO/TC 68/SC 9
Subcommittee Title	Information exchange for financial services
Published standards	37
Standards under development	9

Filter : Published Under development Withdrawn Deleted

No matching records found. Please try changing the filter settings.



Menu

← TC ← ISO/TC 68

Standards by ISO/TC 68/SC 2

Financial Services, security

Filter : Published Under development Withdrawn Deleted

Standard and/or project	<input checked="" type="radio"/> ISO 5158:2023 Mobile financial services — Customer identification guidelines
Stage	60.60
ICS	03.060
Standard and/or project	<input checked="" type="radio"/> ISO 9564-1:2017 Financial services — Personal Identification Number (PIN) management and security — Part 1: Basic principles and requirements for PINs in card-based systems
Stage	90.92
ICS	35.240.40
Standard and/or project	<input checked="" type="radio"/> ISO 9564-2:2014 Financial services — Personal Identification Number (PIN) management and security — Part 2: Approved algorithms for PIN encipherment
Stage	90.93
ICS	35.240.40
Standard and/or project	<input checked="" type="radio"/> ISO 9564-4:2016 Financial services — Personal Identification Number (PIN) management and security — Part 4: Requirements for PIN handling in eCommerce for Payment Transactions
Stage	90.93
ICS	35.240.40
Standard and/or project	<input checked="" type="radio"/> ISO 11568:2023 Financial services — Key management (retail)
Stage	60.60
ICS	35.240.40

3. ISO/TC 68の標準一覧

Standard and/or project	✔ISO 13491-1:2016 Financial services — Secure cryptographic devices (retail) — Part 1: Concepts, requirements and evaluation methods
Stage	90.92
ICS	35.240.40
Standard and/or project	✔ISO 13491-2:2023 Financial services — Secure cryptographic devices (retail) — Part 2: Security compliance checklists for devices used in financial transactions
Stage	60.60
ICS	35.240.40
Standard and/or project	✔ISO 13492:2019 Financial services — Key-management-related data element — Application and usage of ISO 8583-1 data elements for encryption
Stage	60.60
ICS	35.240.40
Standard and/or project	✔ISO/TR 14742:2010 Financial services — Recommendations on cryptographic algorithms and their use
Stage	90.92
ICS	03.060 35.240.40
Standard and/or project	✔ISO 16609:2022 Financial services — Requirements for message authentication using symmetric techniques
Stage	60.60
ICS	35.240.40
Standard and/or project	✔ISO/TR 19038:2005 Banking and related financial services — Triple DEA — Modes of operation — Implementation guidelines
Stage	90.93
ICS	35.240.40
Standard and/or project	✔ISO 19092:2023 Financial services — Biometrics — Security framework
Stage	60.60
ICS	03.060 35.240.40
Standard and/or project	✔ISO 20038:2017 Banking and related financial services — Key wrap using AES
Stage	90.92
ICS	35.240.40
Standard and/or project	✔ISO 21188:2018 Public key infrastructure for financial services — Practices and policy framework
Stage	60.60
ICS	35.240.40
Standard and/or project	✔ISO/TR 21941:2017 Financial services — Third-party payment service providers
Stage	60.60
ICS	03.060

3. ISO/TC 68の標準一覧

Standard and/or project

[✔ ISO 23195:2021](#)

Security objectives of information systems of third-party payment services

Stage

[60.60](#)

ICS

[03.060](#)

[35.240.40](#)



← TC ← ISO/TC 68

Standards by ISO/TC 68/SC 8

Reference data for financial services

Filter : Published Under development Withdrawn Deleted

Search in the list

Standard and/or project	<input checked="" type="checkbox"/> ISO 4217:2015 Codes for the representation of currencies
Stage	90.93
ICS	03.060 01.140.30
Standard and/or project	<input checked="" type="checkbox"/> ISO 4914:2021 Financial services — Unique product identifier (UPI)
Stage	60.60
ICS	03.060
Standard and/or project	<input checked="" type="checkbox"/> ISO 5009:2022 Financial services — Official organizational roles — Scheme for official organizational roles
Stage	60.60
ICS	03.060
Standard and/or project	<input checked="" type="checkbox"/> ISO/TR 6083:2022 Best practices for an internal BPoS handbook
Stage	60.60
ICS	03.060
Standard and/or project	<input checked="" type="checkbox"/> ISO 6166:2021 Financial services — International securities identification number (ISIN)
Stage	60.60
ICS	03.060
Standard and/or project	<input checked="" type="checkbox"/> ISO 9019:1995 Securities — Numbering of certificates
Stage	90.20
ICS	03.060

3. ISO/TC 68の標準一覧

Standard and/or project	✔ ISO 9362:2022 Banking — Banking telecommunication messages — Business identifier code (BIC)
Stage	60.60
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO 10383:2012 Securities and related financial instruments — Codes for exchanges and market identification (MIC)
Stage	90.20
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO 10962:2021 Securities and related financial instruments — Classification of financial instruments (CFI) code
Stage	60.60
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO 13616-1:2020 Financial services — International bank account number (IBAN) — Part 1: Structure of the IBAN
Stage	60.60
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO 13616-2:2020 Financial services — International bank account number (IBAN) — Part 2: Role and responsibilities of the Registration Authority
Stage	60.60
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO 17442-1:2020 Financial services — Legal entity identifier (LEI) — Part 1: Assignment
Stage	60.60
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO 17442-2:2020 Financial services — Legal entity identifier (LEI) — Part 2: Application in digital certificates
Stage	60.60
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO 18774:2015 Securities and related financial instruments — Financial Instrument Short Name (FISN)
Stage	90.92
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO 20275:2017 Financial services — Entity legal forms (ELF)
Stage	90.93
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO 21586:2020 Reference data for financial services — Specification for the description of banking products or services (BPoS)
Stage	60.60
ICS	03.060

3. ISO/TC 68の標準一覧

Standard and/or project

[✔ ISO/TR 21797:2019](#)

Reference data for financial services — Overview of identification of financial instruments

Stage

[60.60](#)

ICS

[03.060](#)

Standard and/or project

[✔ ISO 23897:2020](#)

Financial services — Unique transaction identifier (UTI)

Stage

[60.60](#)

ICS

[03.060](#)

Standard and/or project

[✔ ISO 24165-1:2021](#)

Digital token identifier (DTI) — Registration, assignment and structure — Part 1: Method for registration and assignment

Stage

[90.92](#)

ICS

[03.060](#)

Standard and/or project

[✔ ISO 24165-2:2021](#)

Digital token identifier (DTI) — Registration, assignment and structure — Part 2: Data elements for registration

Stage

[90.92](#)

ICS

[03.060](#)

Standard and/or project

[✔ ISO 24366:2021](#)

Financial services — Natural person identifier (NPI)

Stage

[60.60](#)

ICS

[03.060](#)



Menu

← TC ← ISO/TC 68

Standards by ISO/TC 68/SC 9

Information exchange for financial services

 Filter : Published Under development Withdrawn Deleted

Standard and/or project	<input checked="" type="radio"/> ISO 1004-1:2013 Information processing — Magnetic ink character recognition — Part 1: Print specifications for E13B
Stage	90.93
ICS	35.240.40
Standard and/or project	<input checked="" type="radio"/> ISO 1004-2:2013 Information processing — Magnetic ink character recognition — Part 2: Print specifications for CMC7
Stage	90.93
ICS	35.240.40
Standard and/or project	<input checked="" type="radio"/> ISO 3531-1:2022 Financial services — Financial information eXchange session layer — Part 1: FIX tagvalue encoding
Stage	60.60
ICS	03.060
Standard and/or project	<input checked="" type="radio"/> ISO 3531-2:2022 Financial services — Financial information eXchange session layer — Part 2: FIX session layer
Stage	60.60
ICS	03.060
Standard and/or project	<input checked="" type="radio"/> ISO 3531-3:2022 Financial services — Financial information eXchange session layer — Part 3: FIX session layer test cases
Stage	60.60
ICS	03.060

3. ISO/TC 68の標準一覧

Standard and/or project	✔ ISO 5116-1:2021 Improving transparency in financial and business reporting — Harmonization topics — Part 1: European data point methodology for supervisory reporting
Stage	60.60
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO 5116-2:2021 Improving transparency in financial and business reporting — Harmonization topics — Part 2: Guidelines for data point modelling
Stage	60.60
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO 5116-3:2021 Improving transparency in financial and business reporting — Harmonization topics — Part 3: Mapping between DPM and MDM
Stage	60.60
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO/TR 7340:2023 Reference data distribution in financial services
Stage	60.60
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO 8532:1995 Securities — Format for transmission of certificate numbers
Stage	90.20
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO 8583-1:2003 Financial transaction card originated messages — Interchange message specifications — Part 1: Messages, data elements and code values
Stage	90.92
ICS	35.240.15
Standard and/or project	✔ ISO 8583-2:1998 Financial transaction card originated messages — Interchange message specifications — Part 2: Application and registration procedures for Institution Identification Codes (IIC)
Stage	90.92
ICS	35.240.15
Standard and/or project	✔ ISO 8583-3:2003 Financial transaction card originated messages — Interchange message specifications — Part 3: Maintenance procedures for messages, data elements and code values
Stage	90.92
ICS	35.240.15
Standard and/or project	✔ ISO 9144:1991 Securities — Optical character recognition line — Position and structure
Stage	90.93
ICS	35.240.40
Standard and/or project	✔ ISO 11649:2009 Financial services — Core banking — Structured creditor reference to remittance information
Stage	90.93
ICS	03.060

3. ISO/TC 68の標準一覧

Standard and/or project	✔ ISO 12812-1:2017 Core banking — Mobile financial services — Part 1: General framework
Stage	90.93
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO/TS 12812-2:2017 Core banking — Mobile financial services — Part 2: Security and data protection for mobile financial services
Stage	90.93
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO/TS 12812-3:2017 Core banking — Mobile financial services — Part 3: Financial application lifecycle management
Stage	90.93
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO/TS 12812-4:2017 Core banking — Mobile financial services — Part 4: Mobile payments-to-persons
Stage	90.93
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO/TS 12812-5:2017 Core banking — Mobile financial services — Part 5: Mobile payments to businesses
Stage	90.93
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO 15022-1:1999 Securities — Scheme for messages (Data Field Dictionary) — Part 1: Data field and message design rules and guidelines
Stage	90.93
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO 15022-1:1999/Cor 1:1999 Securities — Scheme for messages (Data Field Dictionary) — Part 1: Data field and message design rules and guidelines — Technical Corrigendum 1
Stage	60.60
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO 15022-2:1999 Securities — Scheme for messages (Data Field Dictionary) — Part 2: Maintenance of the Data Field Dictionary and Catalogue of Messages
Stage	90.93
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO 15022-2:1999/Cor 1:1999 Securities — Scheme for messages (Data Field Dictionary) — Part 2: Maintenance of the Data Field Dictionary and Catalogue of Messages — Technical Corrigendum 1
Stage	60.60
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ ISO 18245:2023 Retail financial services — Merchant category codes
Stage	60.60
ICS	03.060

3. ISO/TC 68の標準一覧

Standard and/or project	✔ISO 20022-1:2013 Financial services — Universal financial industry message scheme — Part 1: Metamodel
Stage	90.92
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ISO 20022-2:2013 Financial services — Universal financial industry message scheme — Part 2: UML profile
Stage	90.92
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ISO 20022-3:2013 Financial services — Universal financial industry message scheme — Part 3: Modelling
Stage	90.92
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ISO 20022-4:2013 Financial services — Universal financial industry message scheme — Part 4: XML Schema generation
Stage	90.92
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ISO 20022-5:2013 Financial services — Universal financial industry message scheme — Part 5: Reverse engineering
Stage	90.92
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ISO 20022-6:2013 Financial services — Universal financial industry message scheme — Part 6: Message transport characteristics
Stage	90.93
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ISO 20022-7:2013 Financial services — Universal financial industry message scheme — Part 7: Registration
Stage	90.92
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ISO 20022-8:2013 Financial services — Universal financial industry message scheme — Part 8: ASN.1 generation
Stage	90.92
ICS	03.060
Standard and/or project	✔ISO/TR 22126-3:2023 Financial services — Semantic technology — Part 3: Semantic enrichment of the ISO 20022 conceptual model
Stage	60.60
ICS	03.060 35.240.40

3. ISO/TC 68の標準一覧

Standard and/or project

[✔ ISO/TR 22126-5:2022](#)

Financial services — Semantic technology — Part 5: Mapping from FIX Orchestra to the common model

Stage [60.60](#)

ICS [03.060](#)

[35.240.40](#)

Standard and/or project

[✔ ISO 22307:2008](#)

Financial services — Privacy impact assessment

Stage [90.93](#)

ICS [03.060](#)

Standard and/or project

[✔ ISO/TS 23029:2020](#)

Web-service-based application programming interface (WAPI) in financial services

Stage [90.20](#)

ICS [35.240.40](#)

No matching records found. Please try changing the filter settings.

4. 投票案件回答状況（2022年度）

(1) TC 68

案 件 名			ISO投票期日	結果
1	CIB	TC68 Resolution 22/560 Approval of UNHCR as A Liaison	2022.5.6	承認
2	CIB	TC68 Resolution 22/561 Establish Liaison with JTC1/SC27	2022.5.6	承認
3	CIB	TC68 Resolution 22/562 Approval of New TC68/AG2 SAG Secretary	2022.6.29	承認
4	CIB	TC68 Resolution 22/577 Resolution to Approve New Convenor of TC68/AG3	2023.1.20	Convenor承認 (Jason Polis氏)
5	CIB	TC68 Resolution 23/578 Approval of European Commission (EC) as an A liaison to TC68	2023.2.16	承認
6	CIB	TC68 Resolution 23/579 Approval of TC68 Liaison experts to TC307 Blockchain and Distributed Ledger	2023.3.9	承認
7	CIB	TC68 Resolution 23/580 Approval of TC68/SC9 Chair	2023.3.11	TC68/SC9 Chair承認 (Pierre Epailard氏)

(2) SC 2

案 件 名			ISO投票期日	結果
1	CIB	CIB voting request to appoint a new PL for ISO 9564-5	2022.4.23	承認
2	NP	ISO/NP TS 14742 Financial services — Recommendations on cryptographic algorithms and their use	2022.5.3	承認(WD:20.00) 8カ国がエキスパート参加
3	CD	ISO/CD 5201 Financial services — Code-scanning payment security	2022.5.11	承認
4	DIS	ISO/DIS 5158 Mobile financial services — Customer identification guidelines	2022.5.16	承認
5	DTR	ISO/DTR 24374 Information technology — Security techniques — DLT and Blockchain for Financial Services	2022.6.7	承認
6	NP	ISO/NP 9564-5 Financial services — Personal Identification Number (PIN) management and security — Part 5: Part 5: Methods for the generation, change, and verification of PINs and card security data using the advanced encryption standard	2022.6.8	不承認 (一部条件を満たしていない項目を再検討) ※項番23で再投票
7	CIB	CIB voting request to re-appoint ISO/TC 68 SC2 WG8 Convenor	2022.7.11	Convenor承認 (Anthony Seymour氏)
8	DIS	ISO/DIS 19092 (Ed 2) Financial services — Biometrics — Security framework	2022.7.22	承認

4. 投票案件回答状況（2022年度）

(2) SC 2

案件名			ISO投票期日	結果
9	DIS	ISO/DIS 13491-2 (Ed 5) Financial services — Secure cryptographic devices (retail) — Part 2: Security compliance checklists for devices used in financial transactions	2022.8.8	承認
10	CIB	Resolution 2022/627 Request for a 9-month project extension for ISO 13491-1	2022.10.5	承認
11	CIB	Resolution 2022/628 Request for a 9-month project extension for ISO 9564-1	2022.10.5	承認
12	CD	ISO 20038:2017/CD Amd 1 Banking and related financial services — Key wrap using AES — Amendment 1	2022.10.17	その他 (改訂案へのコメント有無)
13	CIB	ISO/TC 68 & SC2 consultation on ISO/PWI 13133	2022.10.27	承認
14	NP	ISO/NP 18960 Security controls and implementation guidance for third party payment service providers	2022.11.2	承認 (WD:20.00) 日本を含む5カ国がエキスパート参加
15	FDIS	ISO/FDIS 5158 Mobile financial services — Customer identification guidelines	2022.11.22	承認
16	FDIS	ISO/FDIS 11568 Financial services — Key management (retail)	2022.11.24	承認
17	FDIS	ISO/FDIS 13491-2 (Ed 5) Financial services — Secure cryptographic devices (retail) — Part 2: Security compliance checklists for devices used in financial transactions	2022.11.29	承認
18	CIB	Resolution 22626 to issue a call for a liaison representative for ISO/IEC JTC1 SC41	2022.12.16	その他 (JTC1/SC41へのリyezん 代表者の推薦有無)
19	DIS	ISO/DIS 5201 Financial services — Code-scanning payment security	2023.1.5	不承認 (対応を検討)
20	FDIS	ISO/FDIS 19092 (Ed 2) Financial services — Biometrics — Security framework	2023.1.20	承認
21	CD	ISO/CD 13491-1 Financial services — Secure cryptographic devices (retail) — Part 1: Concepts, requirements and evaluation methods	2023.2.7	その他 (改訂案へのコメント有無)
22	CIB	ISO/TC 68/SC 2 – Establishment of Chair Advisory Group (CAG)	2023.2.14	承認 (CAG設置およびToR)
23	NP	ISO/NP 9564-5 Financial services — Personal Identification Number (PIN) management and security — Part 5: Methods for the generation, change, and verification of PINs and card security data using the advanced encryption standard ※項番6に関する再投票	2023.2.17	承認 (WD:20.00) 7カ国がエキスパート参加
24	CIB	Call to approve liaison representative to ISO/IEC JTC1 SC41 Internet of things and digital twin	2023.3.1	承認
25	SR	ISO 20038:2017 Banking and related financial services — Key wrap using AES	2023.3.4	(投票結果待ち)

4. 投票案件回答状況（2022年度）

(2) SC 2

案件名			ISO投票期日	結果
26	CIB	To agree to changing ISO 20038:2017 Amd 1 Banking and related financial services — Key wrap using AES to a full revision	2023.3.15	承認

(3) SC 8

案件名			ISO投票期日	結果
1	CIB	Approval of UNHCR as Liaison A organisation	2022.5.31	承認
2	CIB	Convenor for WG 7 on Natural Person Identifier Part 2	2022.5.31	Convenor承認 (Patrick Curry氏)
3	CIB	Preparation for Systematic Review for ISO 20275 (ELF code)	2022.6.16	その他 (改訂裏付根拠の有無)
4	DTR	ISO/DTR 6083 - Best practices for an internal BPOs handbook	2022.6.28	承認
5	CIB	Revision of the ISO 24165 (DTI) standard - both: part 1 and part 2	2022.6.30	承認
6	CIB	Appointment of Mr. Ryan Pierce as new Convenor for WG 3	2022.10.3	Convenor承認 (Ryan Pierce氏)
7	SR	ISO 20275:2017 Financial services — Entity legal forms (ELF)	2022.12.2	継続
8	NP	ISO/NP 17442-3 Financial services — Legal entity identifier (LEI) — Part 3: Part 3: verifiable LEIs (vLEIs)	2022.12.9	承認 (WD:20.00) 日本を含む7カ国がエキスパート参加
9	CIB	ISO 10383:2012: Input for upcoming Systematic Review	2022.12.20	その他 (改訂裏付根拠の有無)
10	CIB	ISO 9019:1995: Input for upcoming Systematic Review	2022.12.20	その他 (改訂裏付根拠の有無)
11	CIB	Liaison between SC8 and JTC1/SC27	2023.1.11	承認
12	CIB	Convenor for the new WG for NP 17442-3 vLEI	2023.1.17	Convenor承認 (Karla McKenna氏)

(4) SC 9

案件名			ISO投票期日	結果
1	DIS	ISO/DIS 8583 (Ed 3) Financial transaction card originated messages — Interchange message specifications	2022.4.21 2022.4.12	承認

4. 投票案件回答状況（2022年度）

(4) SC 9

案 件 名			ISO投票期日	結果
2	CIB	CIB - Call for experts ISO/TC 68/SC 9/WG 4	2022.5.6	日本を含む12カ国がエキスパート参加
3	SR	ISO 12812-1:2017 Core banking — Mobile financial services — Part 1: General framework	2022.6.13 2022.6.4	継続
4	CIB	Fast-track on the FIX Simple Binary Encoding (SBE)	2022.10.26	承認
5	CIB	EPC Fast-track QR-codes for mobile (instant) credit transfer	2022.11.1	その他(要再検討) ※項番6で再投票
6	CIB	2nd informative ballot EPC Fast-track QR-codes for mobile (instant) credit transfer ※項番5に関する再投票	2023.1.13	承認
7	SR	ISO 15022-1:1999 (vers 5) Securities — Scheme for messages (Data Field Dictionary) — Part 1: Data field and message design rules and guidelines	2023.3.4	継続
8	SR	ISO 15022-2:1999 (vers 5) Securities — Scheme for messages (Data Field Dictionary) — Part 2: Maintenance of the Data Field Dictionary and Catalogue of Messages	2023.3.4	継続

委員会の活動

2022年度

ISO/TC68国内委員会議事録

[2022年12月15日開催分](#)

[2022年6月7日開催分](#)

国際会議出席

2023年2月21日	ISO 20022 RMG 定例会合 (Zoom)
2022年11月7日～11日	ISO/TC68年次総会およびISO 20022 RMG定例会合 オスロ (ノルウェー/ハイブリッド)
2022年5月18日	ISO 20022 RMG定例会合 (Zoom)

活動報告書

ISO/TC68国内委員会（2023年3月現在）

— 組織名のみを五十音順で記載。
委員、リエゾン、オブザーバーについては、「ISO/TC 68国内委員会 運営規約当委員会規約」をご参照ください。

委員長	横浜国立大学大学院環境情報研究院 松本 勉 教授
事務局	日本銀行決済機構局
事務局長	橋本 崇

委員	アクセントチュア
	渥美坂井法律事務所・外国法共同事業
	Adyen Japan
	NTTデータ
	NTTデータ ルウィーブ
	OpenID Foundation
	Kyash
	キャッシュレス推進協議会
	GLEIF Japan
	アジア資本市場協議会
	サプライチェーン情報基盤研究会
	産業技術総合研究所
	Cedar
	ジェーシービー
	JPモルガン・チェース銀行
	証券保管振替機構
	新生銀行
	全国銀行協会
	全国銀行資金決済ネットワーク
	ティージェイ総合研究所
	TRUSTDOCK
	日本カードネットワーク
	日本銀行
	日本CFO協会
	日本証券業協会
	野村総合研究所
	日立製作所
	ビットバンク
	Fintech協会
	富士通
	freee
	Bloomberg L. P.
	ポラリファイ
	みずほ銀行
	三井住友銀行
	三菱UFJインフォメーションテクノロジー
	三菱UFJ銀行
	三菱UFJニコス
	メルカリ
	メルコイン
	LINE Pay
	Liquid

リエゾン	ISO/TC 307国内審議委員会
	ISO/IEC JTC 1/SC 17国内委員会
	ISO/IEC JTC 1/SC 27専門委員会
	ISO/IEC JTC 1/SC 37専門委員会

オブザーバー	伊藤忠テクノソリューションズ
	さくら情報システム
	SAPジャパン
	NTTデータ
	オージス総研
	共同印刷
	金融情報システムセンター
	金融庁
	Ginco
	経済産業省
	国立情報学研究所
	ジェーシービー
	シグマクシス
	スイフト・ジャパン
	全国銀行協会
	全国地方銀行協会
	第二地方銀行協会
	東京証券取引所
	東芝インフラシステムズ
	日本銀行
	日本証券業協会
	日本FIX委員会/パイングローブ・リサーチ
	野村総合研究所
	PayPal Pte. Ltd. 東京支店
	日立製作所
	富士通
	みずほ証券
	三井住友銀行
	三菱重工機械システム
	三菱電機インフォメーションシステムズ
	三菱UFJ銀行
	レッドコンパス